

2012 FIA F1世界選手権シリーズ第15戦 日本グランプリレース
メディアインフォメーション Vol.11

2012年9月26日
株式会社モビリティランド
鈴鹿サーキット

往年のF1マシンをJ・アレジ氏、中嶋悟氏、鈴木亜久里氏がデモラン!!
偉大なる挑戦で人々の記憶に刻まれた4台のF1マシンと3人の元F1ドライバー

決勝日(10月7日(日))に行われる往年のF1マシンによるデモ走行の詳細が決定。走行マシンはHonda RA272(1965年)、ロータス101・ジャッド(1989)、ラルースLC90・ランボルギーニ(1990)、フェラーリF2003(2003)。そしてドライバーとしてJ・アレジ氏が登場。また日本を代表する元F1ドライバー中嶋悟氏、鈴木亜久里氏も登場する。

■鈴鹿サーキット開場50周年記念 鈴鹿を駆け抜けたF1マシンデモ走行

日時:10月7日(日) ※時間未定

場所:国際レーシングコース フルコース

マシン・ドライバー:フェラーリF2003

J・アレジ氏

ラルースLC90・ランボルギーニ 鈴木亜久里氏

ロータス101・ジャッド

中嶋悟氏

Honda RA272

※ドライバーは決定次第、発表させていただきます。

■走行マシン・ドライバー

フェラーリF2003(2003)



J・アレジ氏



M・シューマッハが6度目のチャンピオンを鈴鹿で決めたマシン。ドライブするのは1991年～1995年までフェラーリに在籍したJ・アレジ。F1通算1勝は1995年カナダGPで、フェラーリであげたもの。当時のフェラーリは戦闘力不足だったが、アレジの果敢な走りは世界中のフェラーリファンを興奮させた。今回のデモランに登場するF2003は実際にアレジが戦ったマシンではないが、フェラーリに乗るアレジを見ることで多くのファンが当時の走りを思い出すことだろう。

ラルースLC90・ランボルギーニ(1990)



鈴木亜久里氏



鈴木亜久里を日本人初表彰台に導いたマシン。1990年日本GP、9番グリッドからスタートした鈴木亜久里は、第1コーナー手前でダートに片輪を落としながらも豪快にオーバーテイクを決めるなど、多くの見せ場を作り終盤に3位に浮上。サーキット中が興奮の渦に包まれる中、日本人初の表彰台を母国GPで決めた。

ロータス101・ジャッド(1989)



中嶋悟氏



日本人初のファステストラップを記録し、中嶋悟がもっとも表彰台に近づいたマシン。1989年最終戦のオーストラリアGPは雨でスタートから大混乱。後方からのスタートだった中嶋は一気に追いつき終盤に4位を走行。ファステストラップを記録しながら3位のマシンにテール・トゥ・ノーズまで迫ったが、巻き上げる水しぶきをエンジンが吸い込みスピードが上がらず、惜しくも4位でゴール。日本人初表彰台は幻となった。

Honda RA272(1965年)



HondaがF1初優勝を飾ったマシン。1964年にRA271でF1に初参戦したHondaは、2年目の65年に改良型のRA272を投入。第3戦で4番グリッドを獲得し、決勝は6位でチェッカーを受け初ポイントを得た。その後も入賞を重ね、最終戦メキシコGPでR・ギンサーが予選3番手から追いついてトップチェッカー。見事Hondaに初優勝をもたらした。